



林 敏博 議員

災害等に使用する 発電設備の整備は

発電機関係備蓄一覧

品 目	可搬型発電機		
	900w	2800w	2200w
出力 等	900w	2800w	2200w
燃 料	ガソリン	ガソリン	プロパンガス
運転時間	3.2～7.1 時間	7～17.3 時間	※10～20 時間
中央公民館（温知小学校）		1	
ゆうごう・ほっと館	2		
西公民館（池田中学校）	2		
養基公民館（養基小学校）	1		
宮地公民館（宮地小学校）	1		
八幡公民館（八幡小学校）	2	1	
東公民館（池田小学校）	2		
総合体育館	1		2
道の駅	1	2	
池田公園		1	
合計	12	5	2

台風21号により池田町では広範囲に長時間の停電が発生し、電気の必要性が再確認された。

池田町では、非常用発電設備が庁舎・中央公民館と水道施設（3水源）に設置し、可搬型発電機が公民館・総合体育館等に合計19台ある。

下水道浄化センターには、現在非常用発電設備が設置されていないが、台風21号による停電ではどの様に対応したのか。

また今後、非常用発電設備を設置する予定は。

町長

停電時に管理委託業者が、200ボルトの可搬型発電機を用意して汚水をOD槽に送るなど、処理工程に支障がないように対処した。非常用発電設備を31年、32年で一億円の予算で整備していく。

また緊急避難場所に指定されている道の駅池田温泉に、2,500万円の予算で非常用発電機を設置する。

各施設の発電機・発電設備の試運転の状況は。また役場職員への発電機等の操作方法の研修は。

町長

各施設の発電設備の試運転は月一回しており、停電時には自動運転する事になっているが、手動で操作できる様に職員研修をしている。可搬型発電機は、各訓練等に使用する事

により、稼働状況の確認と操作方法の研修をしている。

今後の可搬型発電機の整備方針は。

町長

来年度以降、町内16カ所の避難所で使用するガソリン・プロパンガスを燃料とする200ワットから2,200ワットの可搬型発電機を整備していく。

可搬型発電機に使用する燃料の備蓄は。

町長

燃料については、消防法上の問題もあるので、必要最小限の範囲で燃料を備蓄している。



発電機の操作方法の研修

新元号への池田町と しての対応は

今年の5月1日から元号が新元号に変わる。現在池田町のホームページには、元号の記載が必要な各申請書等が90種類程度有り、また印刷済みの書類として交付申請書等有る。

今年の5月の連休明け7日火曜日から、新元号表示の書類が使用できるか。

町長

ホームページの各申請書等については、全ての様式に対応できないので、規則・要綱で定められた様式について一括改正により、新元号で使用できる様になる。

旧元号が印刷された書類の未使用分は、元号を修正して使用されるのか、破棄されるのか。

町長

書類の在庫が12月6日現在5万5,000枚ほどあり、今年4月末でも3万枚程度残るので、新元号のゴム印で訂正し使用していく。書類を破棄する事は一切考えていない。